



KUMAMOTO

The Weekly Bulletin

GREEN Rotary-Club

Kumamoto green rotary club district 2720 rotary international

CREATE
LASTING
IMPACT2026～
2027年度
テーマ

R.I. 会長テーマ 「持続可能なインパクトを生み出そう」

R.I. 会長 オンラインカ・ハキーム・ババロラ

R.I. 2720 地区テーマ 「ロータリーが〇〇をつなぐ」

R.I. 2720 地区 ガバナー 延岡 研一

熊本 G.R.C. テーマ 「つなぎ、楽しみ、行動、奉仕しよう。」 熊本グリーン RC 会長 荒木 一之

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311■創立：平成元年2月22日 ■会長：荒木一之 ■幹事：山口悦史 ■会報担当：山口 翼
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第1611回 [2026～2027 第7回]

令和8年9月7日

【例 会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

・「友と語ろう」(熊本グリーン RC の歌)

友情の握手

会長スピーチ 荒木 一之 (会長)

「医学の発達とゲームチェンジャー」

皆さん、今日は「医学の発達におけるゲームチェンジャー」というテーマで、お話をしたいと思います。私は最近、1900年代初めの日本の看護を描いた朝ドラを見ています。

当時は、看護を受けることができた人は助かる一方で、十分な医療や看護を受けることができず、若くして亡くなる人も少なくありませんでした。それを見ていて、ふと、「人間の寿命は、なぜこれほど長くなったのだろうか？」ということに興味を持ちました。そこで医学の歴史を調べてみると、私たちの寿命を大きく変えた「ゲームチェンジャー」が、いくつもあったことが分かります。

まず、1800年以前には、解剖や観察によって、人間の体がどのような仕組みになっているのかが少しずつ分かってきました。そして1796年、イギリスの医師エドワード・ジェンナーが、天然痘に対する世界初のワクチンを開発しました。これは、病気になってから治

療するのではなく、「病気になる前に防ぐ」という医学の大きな転換点でした。

1800年代になると、パスツールなどの研究によって、細菌と感染症との関係が分かるようになり、さらに麻酔や消毒法が発達しました。手術の際に、手袋やマスクを使い、手術器具を消毒する。今では当たり前のことですが、昔はこうした感染対策が十分ではありませんでした。

その結果、手術を受けても感染症で亡くなる人が大勢いました。消毒や衛生管理の発達によって、手術後の感染症による死亡が大きく減っていきました。これも医学における大きなゲームチェンジャーだったと思います。

1900年代に入ると、さらに医学は大きく変わります。血液型が発見され、安全な輸血ができるようになりました。そして、ヴィルヘルム・レントゲンによってX線が発見され、人体の内部を画像として見るできるようになりました。それまで体の中を見るには、実際に切開するしかありませんでした。それが、体を傷つけることなく内部を見ることができるようになった。これも画期的な出来事です。

1921年にはインスリンが実用化され、糖尿病の治療が可能になりました。

そして1928年、アレクサンダー・フレミングによって、ペニシリンの抗菌作用が発見されます。皆さんの中には、テレビドラマの「JIN」をご覧になった方もいると思います。現代の医師が江戸時代にタイムスリップし、ペニシリンを作ろうとする話です。それほどペニシリンの発見は、医学史上でも非常に大きな革命でした。

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓 話 予 定

9/14 「第3回クラブ協議会」 ★山下佳介 熊本第3グループガバナー補佐訪問

9/21 祝日(敬老の日)定款第7条第1節により例会取り止め

9/28 「観月例会」(於:「喜楽」)

10/5 「アクアスロン熊本2026大会報告」アクアスロン熊本実行委員会

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

肺炎、敗血症、傷口からの感染など、これまで命に関わっていた多くの感染症を治療できるようになったからです。現在でも、傷やけがで病院に行くと、必要に応じて抗生物質が使われることがあります。

1950年代になると、心臓医学や臓器移植が発達します。

それまでは、悪くなった臓器をそのまま抱えて生きるしかなかったものが、「悪くなった臓器を交換する」という新しい医療が始まりました。

さらに1970年代になると、CTやMRI、内視鏡などの画像診断技術が発達します。これによって、「症状が出てから病気を見つける」から、「症状が出る前に病気を見つける」という医療へ変わっていきました。がんや脳卒中などの早期発見にも、大きな影響を与えています。そして現在、医学はさらに大きな転換点を迎えています。遺伝子、免疫、再生医療などの研究が急速に進んでいます。

例えば、人間の体には、がん細胞を見つけて攻撃するT細胞という免疫細胞があります。ところが、がん細胞は、このT細胞に「自分を攻撃しないで」とブレーキをかけることがあります。そこで登場したのが、免疫チェックポイント阻害薬です。簡単に言えば、「がんによってかけられた免疫のブレーキを外し、もう一度、免疫細胞にがんを攻撃させる」という治療です。さらにCAR-T細胞療法では、自分のT細胞を一度体外に取り出し、がんを見つけて攻撃する能力を持たせてから、再び体内に戻します。これは、まさに「自分自身の免疫を薬として使う」という発想です。

そして、mRNA技術も急速に発展しています。mRNAは簡単に言えば、「このたんぱく質を作ってください」という設計図のようなものです。それを利用して、私たちの免疫に病原体などの情報を覚えさせることができます。現在では、感染症のワクチンだけでなく、がんワクチンやがん免疫療法、遺伝性疾患など、さまざまな分野への応用が研究されています。

そして日本人として誇らしいのが、iPS細胞です。京都大学の山中伸弥教授の研究によって世界的に知られるようになりました。普通の細胞を、さまざまな細胞へ変化できる状態に戻す。これによって、患者さん自身の細胞から、病気になった組織を作り直すという可能性が生まれました。その先にあるのが再生医療です。心筋、神経、網膜、軟骨、血管など、失われた組織そのものを再生させようという研究が進んでいます。こうして医学の歴史を振り返ってみると、大きな変化が何度も起きています。

昔の医学は、「病気になったら治す」というものでした。それが、「病気になる前に防ぐ」そして、「病気を早く見つける」という医療に変わりました。

さらに現在は、「病気の原因を予測する」「遺伝子や細胞レベルで治療する」「壊れた組織そのものを再生する」というところまで進んできています。そして、ここにAIが加わろうとしています。

AIによって、画像診断や検査データの分析、薬の開発などがさらに進めば、今まで人間だけでは見つけられなかった病気を、より早く発見できるようになるかもしれません。振り返ってみると、医学を大きく進歩させてきたものは、一つの薬だけではありません。

「予防」「衛生」「輸血」「画像診断」「抗生物質」「移植」「免疫」「遺伝子」「再生医療」そして「AI」こうした一つ一つのゲームチェンジャーが、人間の命を救い、寿命を延ばしてきました。私たちは今、その医学の歴史の中でも、非常に大きな変化の時代に生きています。これから10年、20年先の医学がどうなっているのか。今では想像もできないような治療法が、当たり前になっているかもしれません。

そう考えると、医学の進歩というものは、単に病気を治す技術の進歩ではなく、「人間の生き方そのものを変えていくゲームチェンジャー」なのではないでしょうか。

今日は、そんな医学の発達について考えてみました。ありがとうございました。

幹事報告 山口 悦史(幹事)

■その他のロータリー関係

「第18回 熊本中央RC

チャリティーゴルフコンペ」のご案内

日時 令和8年10月23日(金)

場所 チサンカントリークラブ御船

プレー代(昼食付:セルフ)9,400円

(ロッカー代別に440円)

セルフ 7,500円※詳細・後日改めてご案内致します。

コンペ参加費 3,000円(チャリティーフィ込み)

<懇親会・表彰式は姉妹クラブ歓迎例会と同時に開催> 同日18:30～

場所 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ 6F

会費 10,000円

締切 10月7日(水):但し、変更や取消は10月20日(火)以降、受付られません。

■例会変更

○熊本東南RC: 9月9日(水)の例会は「日帰り親睦家族旅行」(変更)→9月6日(日)開催

○熊本東南RC: 10月14日(水)の「祝日が含まれる週」(取止め)

○熊本東南RC: 10月21日(水)例会を「ガバナー公式訪問3RC合同例会」(変更)

→変更後の場所と日時: 10月22日(木)12:30～
(於: ホテルキャッスル)

○熊本城東RC: 9月28日(月)例会を「お月見の会」(変更)

→変更後の場所と日時: 同日18:30～
(於: グリルクドウ)※但しサインMUなし

○熊本城東RC: 10月19日(月)例会を「ガバナー公式訪問2RC合同例会」(変更)

→変更後の場所と日時: 同日18:30～
(於: ホテルキャッスル)※但しサインMUなし

誕生祝 宮部康弘 クラブ管理運営委員会
(親睦担当長)

★ 9月誕生祝い

- ・ 寺本 智
(H4. 9. 1)
- ・ 伊津野 和恵
(9. 23)
- ・ 野元 幸恵
(9. 4)



出席報告 野元知明 クラブ管理運営委員

	会 員 総 数	23名	出席 率
9月7日	出席免除会員数	1名	59.09%
	計算上会員数	22名	
	出席会員数	13名	
8月3日	前回の出席会員数	12名	59.09%
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	13名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・ 8 / 12 熊本東南RC 河島会員			

委員会報告

① 前年度 出席 100 %表彰

報告者：田中慎二前年度クラブ管理運営委員長

★2025 ～ 2026 年度 100%(皆勤賞)
出席表彰(R8. 9. 7 表彰)★

- ・ 1年間皆勤(2025年7月～2026年6月)
江上泰弘 会員、山口 翼 会員、山口悦史 会員
- ・ 4年間皆勤(2022年7月～2026年6月)
宮部康弘 会員
- ・ 6年間皆勤(2010年7月～2026年6月)
荒木一之 会員、河野景治 会員
- ・ 20年間皆勤(2006年7月～2026年6月)
田中純司 会員
- ・ 26年間皆勤(2000年7月～2026年6月)
山下佳介 会員
- ・ 29年間皆勤(1997年7月～2026年6月)
河島一夫 会員

前年度出席 100%(皆勤賞)表彰者 9名

(賞品：上記9名には「日専連商品券 2,000 円」+「蜂楽饅頭 6 個券を 2 枚」)

★次点：年間 3 回以内の欠席者：田中慎二 会員、
田代 武 会員、田上裕章 会員

前年度出席次点表彰者 3名

(賞品：上記3名には、「蜂楽饅頭 6 個券を 2 枚」)

以上、今年度表彰対象者は 12 名



②「アクアスロン熊本 2026」開催

報告者：田中純司 奉仕プロジェクト委員

開催日：令和 8 年 9 月 21 日 (月・祝日)

AM 7:00 より準備開始です。

連休の中日でお忙しいとは思いますがご協力をお願い致します。



スマイル 嘉悦雅文 クラブ管理運営委員会
(スマイル担当)

●荒木一之 君、山口悦史 君

「本日は野元会員より「K J」リーグについて」の卓話になっております。よろしくお願い致します。」

●宮部康弘 君、田中慎二 君

「本日は青少年奉仕委員会の担当例会です。この度、野元会員の会社の素晴らしい事業を支援させて頂く事になりました。皆さんよろしくお願い致します。」

●野元知明 君

「本日は貴重な機会を頂きましてありがとうございます。よろしくお願い致します。」

●松村秀逸 君

「久しぶりの出席です。地震対応等で色々とお忙しいとおりましたが、明日 8 日が議会最終日閉会となります。おわびにスマイル致します。」

●嘉悦雅文 君

「本日は野元会員の K J リーグについての卓話楽しみにしております。よろしくお願い致します。」



3. プログラム

- 卓話者：野元知明会員
- 演 題：「K Jリーグについて」



KJ LEAGUE

03

熊本の低学年1,000人が集う、年間リーグ

小学1年生から3年生まで。勝敗だけでなく、継続的な成長を見守ります。

90	1,000	8	30,000
チーム	参加選手	年間開催	年間延べ来場者

子ども達に笑顔と成長を

KJ LEAGUE

04

大会を“点”で終わらせず、成長を“線”で見る

短期大会の良さを生かしながら、年間リーグという日常をつくります。

熊本	欧州の育成年代
1日・2日で完結する 大会が多い	→ 日常的なリーグ戦で 試合と成長を積み重ねる

熊本に、年間リーグという選択肢を。

KJ LEAGUE

09

安心があるから、自己実現へ向かえる

失敗を恐れる状態から、自分の可能性を試す状態へ。

不安からのプレー	成長に向かうプレー
怒られたくない	もっと上手になりたい
ミスをしたくない	難しいことに挑戦したい
認められたい	自分の力を試したい
指示されたから動く	自分で考えて動く



卓話のあとスポンサー契約締結書と
スポンサー料の授与

4. 閉会・点鐘

＊例会終了後「定例理事会」開催